

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称		
174	174	人権啓発推進事業	01	01	一般会計		
			02	02	総務費		
38	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する。	01	01	総務管理費		
			18	18	人権啓発費		
			101	101	人権啓発推進経費		
			01	01	人権啓発推進経費		
担当部課名	伊賀支所 人権同和課		細目	101	人権啓発推進経費		
作成者氏名	増森 和吉	連絡先	0595-45-9108		細々目	01	人権啓発推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	伊賀支所管内住民	すべての人の人権が尊重される明るく住みよいまちになる。			
本年度事業内容	1. 広報事業 2. 人材育成事業 3. 差別をなくす強調月間事業 (1)人権フェスティバル (2)差別をなくすいがちの集い (3)店頭啓発 (4)行政無線放送 (5)企業人権推進訪問 (6)人権パネル展 (7)人権ポスター (8)人権看板・のぼりの設置 4. 人権・同和問題地区別懇談会 5. 各大会・集会参加事業 6. 部落史研究事業 7. 資料作成・情報提供事業の実施				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.5	1	
人件費合計(A)	10,800	7,200	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	5,254	5,052	0
委託料	2,899	3,589	
その他	2,355	1,463	
合計(A+B)	16,054	12,252	0
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	400	1,809	
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	15,654	10,443	0
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
人権啓発放送	回	10	10	10			
人権フェスティバル	人	530	550	550			
差別をなくす集い	人	190	200	200			
地区別懇談会モデル事業	区	16	4	8			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地区懇モデル事業 実施比率	地区懇モデル実施地区(16区)／地区懇モデル実施全区(28区)	%	57.1 目標 ( 100 )	71.4	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

部落差別をはじめ、あらゆる差別の完全撤廃になるよう人権啓発を行っていく。 人材育成、人権・同和問題地区別懇談会を重点的に取り組む。 改善点は、本庁と啓発連携できるところは調整していきたい。
--

評価	必要性	4	人権啓発のまちづくりは重要施策であり、全市的な人権啓発推進を行い、伊賀地域に密着した施策は重点的に続行して取り組みたい。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		